

見晴台 キャンドルナイト 2025

キャンドルナイト 2025 に参加ありがとうございます



各家庭の自宅前で作成したアイスクャンدل、スノーキャンドル、雪像をキャンドルの明かりで灯し楽しい時間を過ごしましょう。

目次

1. 参加にあたってのお願い
2. 写真提供のお願い
3. アイスクャンدل・スノーキャンドルの作り方

開催日 令和7年2月8日(土)・9日(日) 18時点灯



見晴台自治会

1. 参加にあたってのお願い

- ・ 2日間すべてに参加できなくても OK です
ご予定・天候に合わせて、可能な範囲でご参加下さい。

- ・ 雪像や氷像も OK です

アイスクャンドルやスノーキャンドルの作り方を紹介していますが、雪だるまや雪像も OK です、ご家庭で作れそうなものをお作り下さい。



- ・ キャンドル 8 個の使い方は自由

1 日で全部、1 日 4 個でも構いません。ただし キャンドルを追加したい場合は自己負担 をお願いします。

- ・ 消し忘れのなどないように

点灯時間は 18 時でお願いしていますが、消灯時刻は各家庭におまかせしますので火の元にご留意願います。

※ 「見どころマップ」をご用意

キャンドルが灯っている場所がわかる「見どころマップ」が 2 月 3 日（水）自治会館開設日に玄関で入手 できます。それを持ってキャンドルを見に行きましょう。

2. 写真提供のお願い

自宅前に作った雪像や氷像をキャンドルでライトアップしている風景の写真を募集します。

次の方法で自治会館へ送ってください。送っていただいた写真は、見晴台自治会ホームページに掲載させていただきます。

(現在、令和4年・5年の写真掲示)

《写真での提供方法》

区班・氏名を記して、2月末までに会館ポストへ投函ください。

(1) SDカードやUSBメモリーを、事務局員駐在日に自治会館へお持ちください。事務局員がその場でコピーしてお返しします。

(2) ホームページから投稿するには、右のQRコードを読み込んでください。



又は見晴台自治会ホームページ (<https://miharashidai.jp>) の「お知らせ」の「見晴台キャンドルナイト2025」のページからも投稿できます。

(3) スマホやパソコンのメールアプリから投稿するには、右のQRコードを読み込んでください。



3-1, アイスキャンドルの作り方

1、《バケツを使った作り方》

◎準備するものポリバケツなど

◎作り方

- ①容器にタップリのぬるま湯を入れ、1～2日外に置きます。
- ②1～2日後、容器の回りに静かにお湯をかけ逆さまにして、氷を取り出します。
- ④容器の底になっていた部分を指やドライバーなどで削ります。

2、《牛乳パックを使った作り方》

する物

リットル牛乳パック（その他イロイロ）
き缶（250mlロング缶蓋は外す）
ゴム（4～6本）

◎作り方

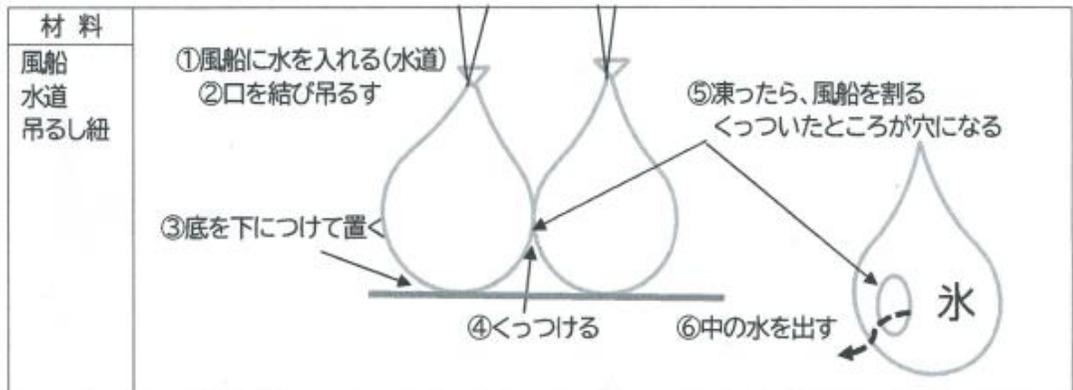
- ①牛乳パックをコーヒー缶の高さとほぼ同じ長さで輪切りにし、四つの「辺」の中心に切れ込みを入れます。
- ③牛乳パックの中心に缶を置き輪ゴムを十字にかけ、牛乳パックに8割程度に水を入れて、冷凍庫又は屋外で凍らせます。
- ④輪ゴムをはずし、缶の中に熱いお湯を入れると、缶だけスルッと抜けます。カッターで牛乳パックを切り開くと完成。



◎準備

1. 1
2. 空
3. 輪

方法2 風船で作ろう



3-2, スノーキャンドルの作り方

1, <<バケツを使った作り方>>

- ① バケツの底にアルミ缶やビンを入れる
(飲み口の面をバケツの底に向ける)
- ② 雪をバケツいっぱいに入れ、押し固める
- ③ アルミ缶やビンを抜いて、出来上がり。



2, <<雪玉のスノーキャンドル>>

- ① ろうそくを置く場所の周囲に雪玉を積み上げる
- ② ろうそくの炎が隠れる高さまで雪玉を積み重ねて、出来上がり。

※雪玉と雪玉の間隙をなるべく多くした方が光がよく通ってきれいです。



3, その他の作り方

- ① 作った雪像や雪だるまに穴を掘る。
- ② 雪山に手やスコップで穴を掘る方法もあります。